

第五節 昭和二年

昭和二年度東京美術學校年報

甲 款

概況

昭和二年四月五日本科選科及特別學生入學許可者ノ氏名ヲ本校内ニ揭示發表シ同月十一日官報ニ掲載セリ
同年同月十二日新入生徒ノ入學式ヲ行フ
同年九月二十二日ヨリ二十五日迄四日間各本科四年圖畫師範科三年五十三名千葉縣下志津陸軍廠舎ニ行軍シ野營演習ヲ実施セリ
同年十月四日本校設置記念日ナリシモ都合ニヨリ繰下ケ十一月四日記念式ヲ行フ
昭和三年一月八日午前十時ヨリ職員生徒一同講堂ニ參集シ新年授業始式ヲ舉行セリ

昭和三年一月二十六日午前九時ヨリ本校運動場ニ於テ各本科並ニ圖畫師範科生徒ノ教練査閲ヲ実施セラル
同年三月二十四日午前十時ヨリ本校第三十七回卒業式ヲ行ヒ例ニ依リ卒業製作並ニ工藝部成績品ヲ別室ニ陳列シ來賓ノ觀覽ニ供シ翌二十五、二十六ノ兩日間廣ク本校関係者及有志等ニ觀覽セシメタリ

規程

本年度内ニ在リテハ創定又ハ改正セラレタルモノナシ

設備

- 一、日本畫科標本臨時設備費
- 二、西洋畫科標本臨時設備費
- 三、彫刻科標本臨時設備費

(以下大正九年度以降年報と同文につき省略。)

職員

本年度ニ於ケル職員ノ數ハ學校長一人教授二十九人助教十九人書記七人嘱託講師二十人同教員十一人同醫師一人副科嘱託三人教務嘱託三人事務嘱託二人教務雇五人事務雇九人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレバ書記ニ於テ一人嘱託教員ニ二人ヲ増シタルモ教務雇一人ヲ減シ其他増減ナシ

生徒

全体ニ於ケル生徒ノ學力操行健康ノ狀態ハ前年度ニ比較シテ大差アルヲ認メズ
新入學生徒ニ在リテモ大要亦同様ニシテ特ニ標學スベキ事情ナシトス

本年度新入學者ハ本科百二十六人選科二十人特別學生八人圖畫師範科二十六人研究生七十七人(内支那人三人アリ)ニシテ其入學者ノ學力程度ハ本科生ニアリテハ官公立中學校卒業者六十人私立中學校卒業者三十三人師範學校卒業者二人工業學校卒業者六人商業學校卒業者五人農學校卒業者二人蚕業學校卒業者一人園藝學校卒業者二人職工學校卒業者一人專門學校入學者試験檢定合格者一人ナリ選科生ニアリテハ私立中學校卒業者一人工業學校卒業者一人中學校二年終了者四人高等小學校卒業者八人高等小學校一年終了者一人

実科工業學校卒業者一人公立普通學校卒業者一人工業講習所修了者一人工藝學校三年修了者一人美術工藝學校一年修了者一人ナリ

特別學生ニアリテハ官公立中學校卒業者一人私立中學校卒業者一人高等普通學校卒業者五人養実學院高等科三年修了者一人ナリ

圖書師範科生ニアリテハ官公立中學校卒業者十人私立中學校卒業者十五人高等普通學校卒業者一人ナリ 研究生七十七人ハ何レモ本校卒業者ノ入學シタルモノトス

新入學生徒ノ年齢ハ本科生ニアリテハ最高二十八年最低十七年二月月ニシテ平均二十年ナリ 選科生ハ最高二十八年六月月ニシテ最低十七年四月月平均二十二年六月月ナリ 特別學生ハ最高二十五年五月月ニシテ最低十八年十一月月平均二十一年一月月ナリ

圖書師範科生ハ最高二十五年五月月最低十八年一月月平均二十年六月月ナリ 研究生ハ最高三十三年五月月最低二十三年五月月平均二十六年九月月ナリ(以上外國人ヲ除ク)

生徒ノ入退學ニ就テハ本年度入學者本科百二十六人選科二十人特別學生八人圖書師範科二十六人研究生七十七人ニシテ再入學者ナシ 退學者ハ兵役退學四人病氣退學七人家事係累退學二十一人除

名處分ノモノ二十七人死亡五人研究生在學資格消滅二十二人轉科八人除籍處分ノモノナシ 之ヲ前年度ニ比較スレバ入學者ハ本科

ニテ三人選科ニテ五人研究生ニテ三十七人ヲ増シタルモ特別學生ニ一人圖書師範科ニ一人ヲ減ゼリ 退學者ニアリテハ兵役退學ニ四人病氣退學ニ六人除名處分ニ十三人死亡ニ一人研究生在學資格消滅ニ五人ヲ増シタルモ家事係累退學ニ五人轉科ニ二人除籍處分

ニ七人ヲ減ジタリ

生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度末ニ比スレバ西洋畫科ニ

一人金工科ニ一人漆工科ニ一人選科生ニ三人特別學生ニ三人ヲ減少シ彫刻科ニ三人建築科ニ一人鑄造科ニ二人圖書師範科ニ一人研究生ニ二十六人ヲ増加シ日本畫科及圖案科ニハ増減ナシ 之ヲ綜合シテ全体ノ差引ノ結果ハ二十四人ノ増加ヲ示セリ

右各科學徒中彫刻科建築科鑄造科圖書師範科ノ増加シタルハ募入人員ヲ増加シタルニ起因スルモ全体ヨリ見テ二十四人ノ増加ヲ示セルハ研究生ノ激增ニ寄ル(依)

本年度ノ卒業生ハ本科九十八人選科十九人特別學生二人圖書師範科二十五人ニシテ計百四十四人ナリ 前年度ニ比シテ二人ヲ減少セリ

生徒中學術品行殊ニ優等ナルモノヲ選ビ本校規則第二十六條ニ依リ特待生トナシ昭和二年四月一日ヨリ一學年授業料ヲ免除セシモノ二十五人アリ 之ヲ前年度ニ比スレバ四人減少セリ 圖書師範

科生徒ニハ前年度ニ於ケルト同一方法ニ依リ學術又ハ技藝ノ優秀ナルモノニ等差ヲ付シテ獎勵金ヲ給與セリ 即チ昭和二年十月及昭和三年三月ノ二回ニ同科生徒ノ競技會ヲ催シ其成績ヲ考查シ優秀ナルモノニ獎勵金ヲ與ヘ又年度末ニ於テ別ニ學術操行ノ優秀ナルモノヲ選拔シテ同ジク獎勵金ヲ付與シタリ

昭和三年三月末卒業スベキ各本科並ニ選科生徒七十一人ノ実地修學ノタメ本年度ノ初四月十二日ヨリ同月二十八日迄十七日間教授

一人助教授一人講師一人書記三人之ガ引率又ハ附添ニ任シ京都奈良和歌山ノ一府二縣ニ出張シ著名ナル神社佛閣等ヲ歴觀シテ美術上ノ実地研究ヲナシタリ

同シク昭和三年三月末ニ卒業スベキ圖書師範科生徒十八人ヲシテ
 実地教授法視察研究ノ爲本年度十月十九日ヨリ同二十八日迄十日
 間助教授一人之ヲ引率シ京都、大阪、奈良、愛知ノ二府二縣ニ出
 張シテ視察研究ヲ爲サシメタリ

本校ニ於テハ生徒皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ關シテ申報スベキ事
 項ナシ

將來施設上重要ト認ムル件

在外研究員ノ増員並ニ教官ヲ外國ヘ派遣ノ件〔大正十二年度以降
 報告とほぼ同文に
 つき省
 略。〕

工藝部塑造教室設置ノ件〔大正十五年度報告と
 同文につき省略。〕

女子部新設ノ件〔大正十年度以降報告と
 同文につき省略。〕

本校付属奈良研究所設置ノ件〔大正十二年度以降報告と
 同文につき省略。〕

陳列館増設ノ件〔本件については大正十三年度以降記載があるが、予
 算が若干認められたことに伴い文章が改められた。〕

如何ナル種類ノ學校モ参考標本ヲ必要トセザルモノナシト雖殊ニ
 本校ノ如キ特殊ノ學校ニ於テハ是等参考標本ハ殆ト其生命トモ謂
 フヘキモノナルガ故ニ本校ニ於テハ之ガ爲多年蒐集ニ努メタル結
 果其數決シテ尠少ナラズ カクシテ蒐集シタル標本参考品モ現在
 ニ於テハ不完全ナル倉庫ノ一部及教場ノ一隅ニ雜陳シ生徒ノ教養
 ノ資ニ供シツ、アルモ素ヨリ狹隘ナル爲觀覽セントスル生徒ノ員
 數ニモ自ラ制限セラル、ノ止ムナキニ至リ不便ヲ感スルコト一切
 ニ止マラズ 此ノ故ニ之等標本参考品ノ陳列館新設ニ關シテハ數
 年ニ亙リ反復陳シタル所ナルガ漸ク本年ニ至リ其希望ノ一部ヲ
 容認サレ若干豫算額ノ給付ヲ受クルニ至リタルハ深く感謝スル所

ナリ サレド多年蒐集セル参考標本類ハ相當ノ大數量ニ上リ居ル
 ヲ以テ當初要求額ノ三分ノ一ニモ足ラザル小規模ノ陳列館ヲ建設
 シ得ルトスルモ到底之ヲ以テ本校ノ希望ヲ満足スル能ハサルモノ
 ナルニ付更ニ四年度ノ豫算ニ於テ其増築計畫ノ費額ヲ計上シ重ネ
 テ要請スル所アルベク切ニ考慮ヲ垂レラレンコトヲ望ム

雜件

生徒實驗ノ資ニ供スル爲諸所ヨリ依頼ヲ受ケ製作ニ從事シタルモ
 ノノ中重ナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

品目	數量	受託年度	竣功年度	依頼者
油繪肖像畫	貳面	昭和二年度	昭和二年度	新島 善直
花盛器	貳個	同	同	農林省
同	貳個	同	同	同
同	貳個	同	同	同
賞牌	四百九十七個	同	同	同

『東京美術学校校友会月報』記事抜粹

東京美術學校近事 (二五—八) 卷号 S・二・三・三三 年 月 日

○職員辭令

昭和二年一月二十二日

敍勳六等授瑞寶章

同 年二月一日

教授 森井 健介

神戸高等工業學校教授 古宇田 實
 兼本校教授